

助教・助手展2023

武蔵野美術大学助教・助手研究発表

Exhibition 2023 Research Associates and Research Assistants



図版1.「助教・助手展2023 武蔵野美術大学助教・助手研究発表」メインビジュアル
デザイン：松本聖典

会期：

2023年12月4日(月)
- 12月23日(土)

会場：

武蔵野美術大学美術館
展示室2・4・5・6、
アトリウム1・2ほか

開館時間：11:00-19:00

(土・日曜日は10:00-17:00)

休館日：水曜日

入館料：無料

主催：武蔵野美術大学 美術館・図書館

企画：助教・助手展2023運営委員会

概要

助教・助手は、武蔵野美術大学各研究室で学生の専門教育をサポートしながら、自らの造形を究める大学の重要スタッフです。本展は、助教・助手という立場でつながり、各々違う表現領域で活躍する作家・研究者が集い、企画・運営されています。創作活動を牽引する本学の若き俊英たち、助教・助手66名による新たな試みをご観覧ください。

本展の見どころ

日々、造形教育の現場に身を置きながら、自らも制作に取り組み続けた成果は、美術・デザインの枠にとらわれず多岐にわたります。広報物や展示空間といったそれぞれが表現の一環を形づくるのも本展の特色です。



参考
「助教・助手展 2022
武蔵野美術大学助教・助手研究発表」
会場風景

参加作家(予定)

秋葉麻由子、伊賀さな、石川夏帆、伊藤安鐘、伊藤乃愛、内堀麻美、宇都宮麻香、大井直人、大関龍一、とりもちうずら、岡野 紗咲、越智七海、小野田藍、風間南楓、河城ふみ、川名晴郎、北島未来、キンマキ、郡祐太郎、古西穂波、小山さくら、齋藤将太、追竜樹、佐々木玲美、佐藤花、佐藤美樹、塩川恵、志田真菜実、柴田光、白井伶奈、砂田紗彩、関根亮、竹下早紀、田村啓悟、多持大輔、椿原崇匡、寺内大登、寺元詩織、所彰宏、永井天陽、永長愛美、中山佳保子、夏日菜々子、難波梨乃、二文字りの、パクビョンイク、林深音、半田奈々子、深田桃子、細井えみか、前野東子、松河直美、松本聖典、宮入惇、宮城島万莉子、宮寺彩美、矢萩理久、山田百香、山本麻璃絵、湯浅美丹、若狭風花、若林穂乃香(五十音順)

* 木村幸伸、白鳥佐和、関根萌夏、和久智穂(運営委員として参加)

参加作家略歴(抜粋)



図版 2. 風間南楓
《MG-04 Little V / MG-05 Twenty-four B》
アクリル板、ソフトメイプル/アクリル板、アルダー
H1015×W375×D60 / H1200×W330×D55 (mm) 2022年

風間南楓

1997年山梨県生まれ。2019年武蔵野美術大学造形学部空間演出デザイン学科卒業。現在、本学空間演出デザイン学科助手。主な活動歴に、2018年「銀座英国屋ウィンドウディスプレイデザイン」銀座英国屋 銀座本店(東京)〈2019年銀座ディスプレイコンテスト銀座タウン賞・銀賞〉など。

在学中より課題制作の傍らエレキギター制作を始める。ファッションやアートディレクションの観点から従来の楽器のデザインを再構成し、経験に関わらず手に取りたくなるような楽器デザインを探求している。

キンマキ

1995年三重県生まれ。2020年武蔵野美術大学大学院造形研究科修士課程美術専攻油絵コース修了。現在、本学油絵学科助教。主な活動歴に、2020年「アートアワードトーキョー丸の内2020」行幸地下ギャラリー(東京)〈入選〉、2021年「群馬青年ビエンナーレ2021」、群馬県立近代美術館(群馬)〈入選〉、「rib」WALLA(東京)、2022年「芸術激流」多摩川(御岳園-軍畑大橋)・国立奥多摩美術館(東京)、「飄セージ」Art Center Ongoing(東京)、個展「message」Open Letter(東京)、「飄」OGU MAG+(東京)、2023年個展「plaster」ArtCenterOngoing(東京)、「Knuckleball」Gallery Chosun(韓国)など。



図版 3. キンマキ 《riverside husen / hand anime》
油絵具、キャンバス/ミクストメディア
H910×W 1167 (mm) 2022年



図版4. 夏目菜々子《suya suya》
油絵具、編み、ウール
H1200×W 1200 (mm) [3点] 2022年



図版5. 山本麻璃絵
《石斧をモチーフにした石斧の彫刻》
樟、黒御影石、白御影石、大理石 サイズ可変
2022年



図版6. 若林穂乃香《LAUNDRY》
アクリル板、液晶ディスプレイ、MDF ほか
サイズ可変 2022年

会場風景および図版2・3・4・5・6
撮影：いしかわみちこ

夏目菜々子

1998年愛知県生まれ。2019年武蔵野美術大学造形学部工芸工業デザイン学科卒業。現在、本学工芸工業デザイン学科助手。主な活動歴に、2020年「ゆらめきいろめききらめき」Galerie Famme Fatale(東京)、2021年「ゆれるもの、ふれるもの」BBB Koenji(東京)など。

おだやかさ・やわらかさをテーマに、織りや編みの技法を用いて、作品を制作している。自ら糸を染めて、糸による並置混色についても研究中。

山本麻璃絵

1988年東京都生まれ。2012年武蔵野美術大学大学院造形研究科修士課程美術専攻彫刻コース修了。現在、本学クリエイティブイノベーション学科研究室助教。主な活動歴に、2017年「あなたが感じていることと、わたしが感じていることは、ちがうかもしれない」はじまりの美術館(福島)、2018年「wood shot」キヤノンデジタルハウス銀座(東京)、2019年「あそぶ木のアート展」浜田市世界こども美術館(島根)、「HOMMAGE」Sansiao Gallery(東京)、2020年「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2020」岐阜県美術館(岐阜)〈大賞〉、2021年「石斧をモチーフにした石斧の彫刻」MDP GALLERY(東京)、2022年「KONSHIN-TEN vol.4」gallery UG Bakurocho(東京)など。

若林穂乃香

1997年埼玉県生まれ。2019年武蔵野美術大学造形学部映像学科卒業。現在、本学映像学科研究室助手。主な活動歴に、2020年「PLUS ART MARKET」ゲストハウス掬水(静岡)、「Graphic Art exhibition ～クリエイティブ表現の現在～」RECTO VERSO GALLERY(東京)、2022年「ささやかな膜」(東京)など。

展覧会関連イベント

会期中、アーティスト・トークなどのイベントを開催する予定です。

日時は決まり次第、当館ウェブサイトでお知らせいたします。

お問い合わせ先：

武蔵野美術大学 美術館・図書館
東京都小平市小川町 1-736
tel: 042-342-6003 fax: 042-342-6451
<https://mauml.musabi.ac.jp>

美術館広報担当 (内田、井上)

mail: prmsm@musabi.ac.jp

プレス用図版をご希望の方へ：

- ・下記の注意点を参照の上、ご希望の図版番号と、必要事項をEメールにてお知らせください。
(お名前、ご所属、電話番号、Eメール、媒体名、掲載号、発行予定日、コーナータイトル)
- ・掲載図版が1点のみの場合は図版1をお送りします。
2点以上の場合は、図版1+ご希望の図版をお送りします。
- ・指定のクレジットを必ず明記してください。
- ・原則的には図版のトリミング、部分使用、文字載せはご遠慮ください。
- ・掲載内容確認のため、発行前にPDF等でレイアウトをお送りください。
- ・紙媒体は掲載見本のご寄贈(掲載ページのPDF可)、ウェブ媒体は掲載ページのURLお知らせをお願いします。